

主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア／米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路

往航（2021年4月）1,717,991TEU（28.9%増）（2020年4月：1,333,130TEU）

・《4月単月で過去最高を更新。（19年4月：136.5万TEU）》

復航（2021年2月）512,537TEU（9.9%減）（2020年2月：568,953TEU）

- 北米往航（アジアから米国）は、前年比28.9%増で10か月連続のプラス。2021年4月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比124.9%増の4,970ドル/TEUで12か月連続のプラス。
- 北米復航（米国からアジア）は、前年比9.9%減で、3か月連続のマイナス。2021年4月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年比62.0%増の1280ドル/TEUで12か月連続のプラス。

欧州航路

往航（2021年3月）1,403,228TEU（9.3%増）（2020年3月：1,283,436TEU）

・《往復航ともに統計開始以来、3月単月としては最高》

復航（2021年3月）715,408TEU（13.8%増）（2020年3月：628,456TEU）

- 欧州往航（アジアから欧州）は前年比9.3%増で2か月連続のプラス。2021年4月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は前年比282.2%増の4,510ドル/TEUで11か月連続のプラス。
- 欧州復航（欧州からアジア）は前年比13.8%増で2か月連続のプラス。2021年4月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は前年比16.3%増の1,500ドル/TEUで17か月連続のプラス。

日中航路

往航（2021年3月）957,794トン（20.9%増）（2020年3月：792,378トン）

・《上位品目を中心に増加し、紙類は半減も全体では前年比20.9%増》

復航（2021年3月）1,803,326トン（4.6%増）（2020年3月：1,723,852トン）

- 日中往航（日本から中国）は、前年比20.9%増で2か月振りのプラス。金額ベースでは前年比40.9%増の9,096億円で4か月連続のプラス。2021年4月の横浜-上海間の運賃は前年比10.2%増の540ドル/TEUで5か月連続のプラス。
- 日中復航（中国から日本）は、前年比4.6%増で2か月連続のプラス。金額ベースでは前年比15.1%増の1兆680億円で2か月連続のプラス。2021年4月の上海-横浜間の運賃は前年比24.6%増の860ドル/TEUで14か月連続のプラス。

アジア域内航路

（2021年3月）3,937,696TEU（12.2%増）（2020年3月：3,508,014TEU）

- CTS社による集計では、前年比12.2%増となる393.8万TEUで10か月連続のプラス。2021年4月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比52.2%増の1,368ドル/FEUで9か月連続のプラス。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*,に基づく

図-1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：TEU）

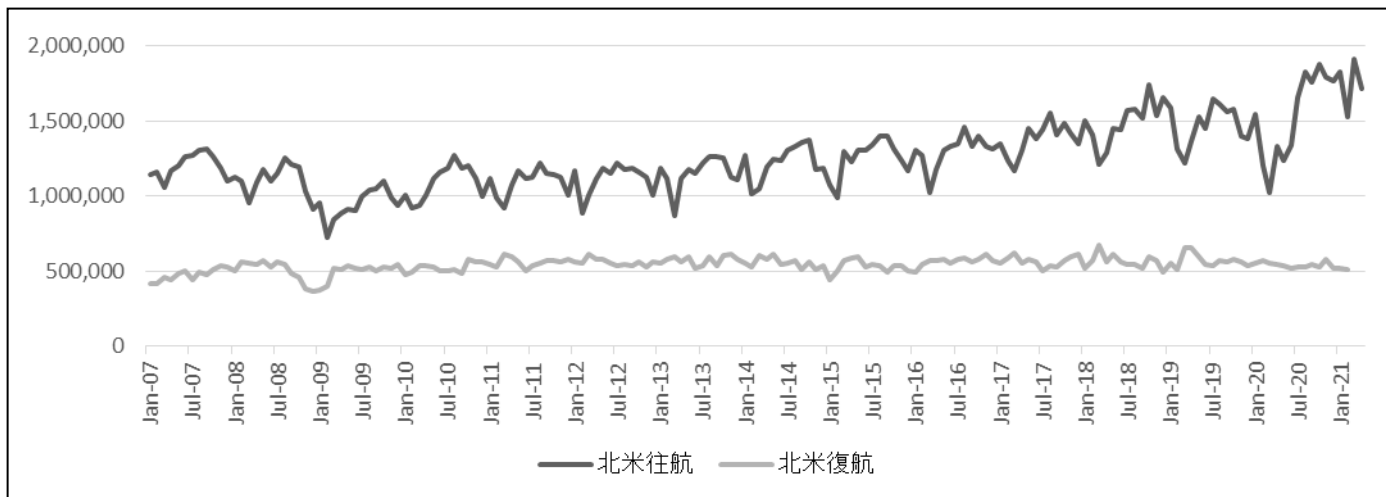


図-2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：TEU）

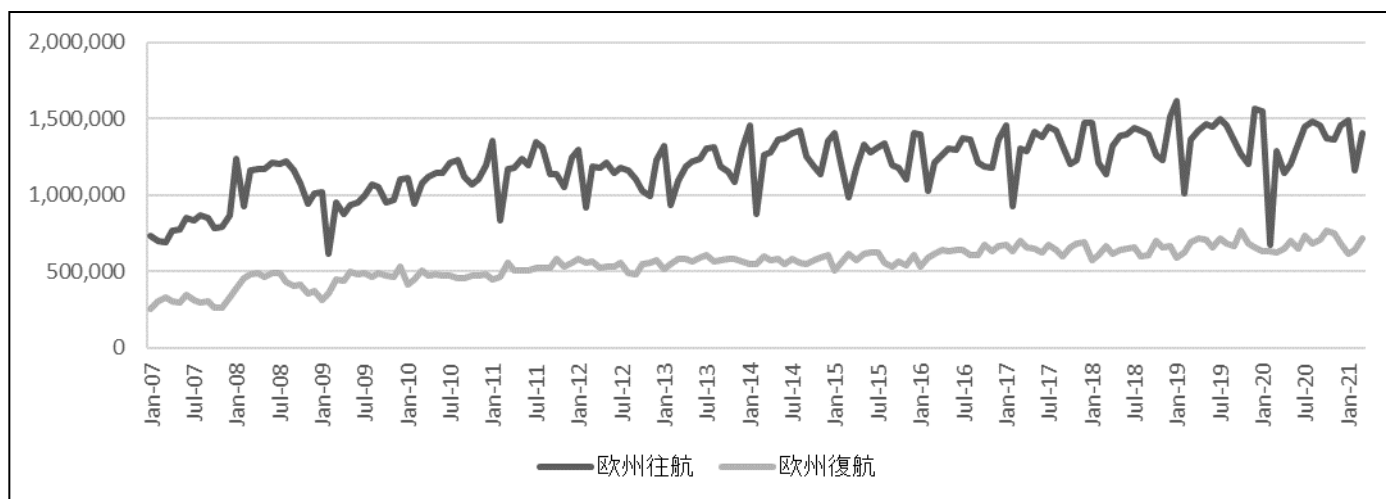


図-3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移（単位：トン）

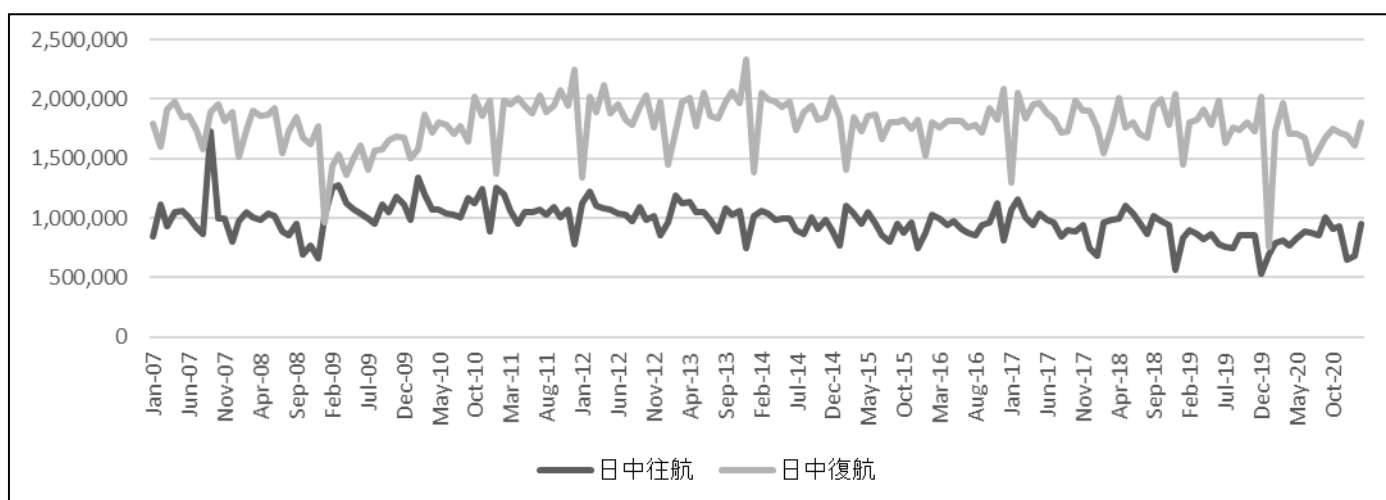


図-4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

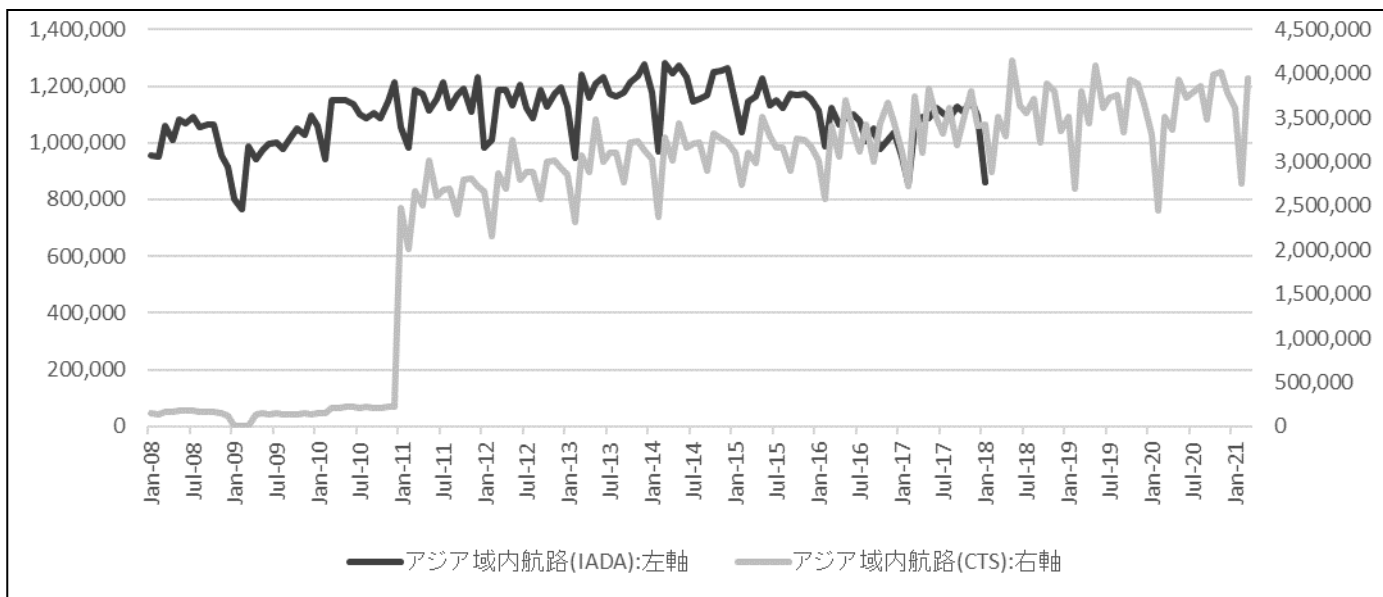


図-5 北米航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

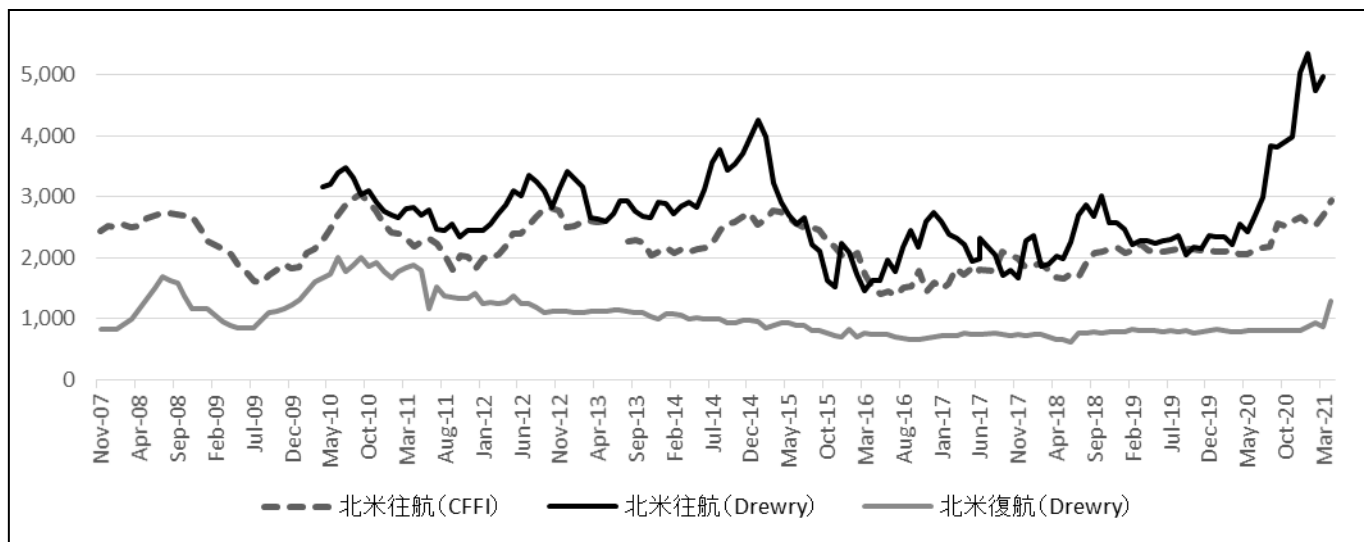
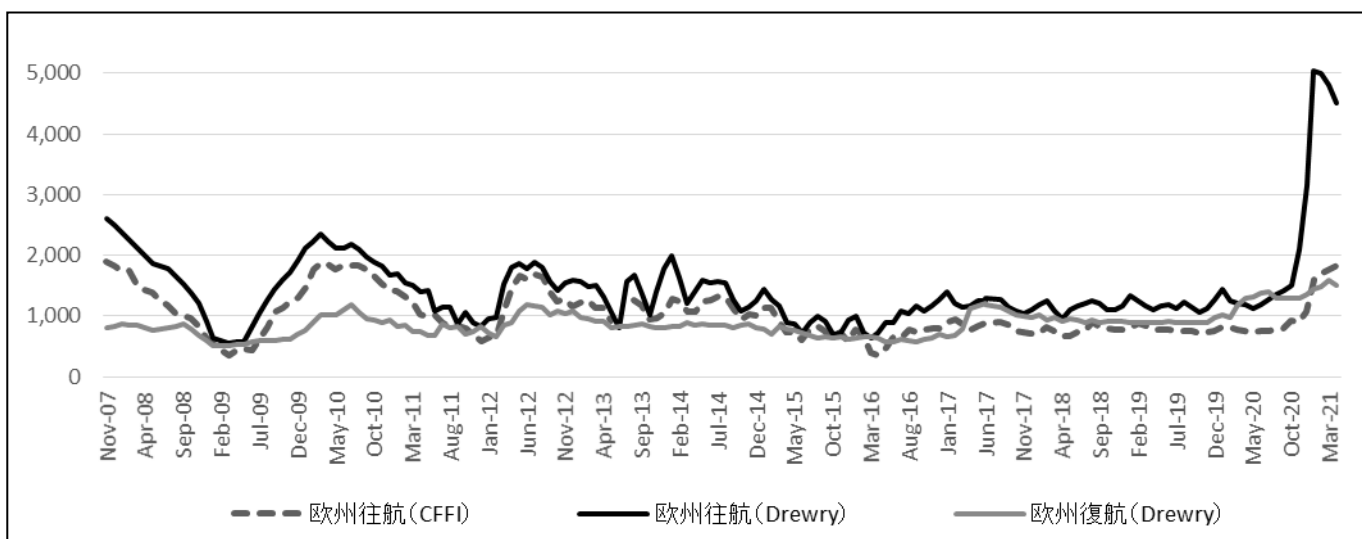
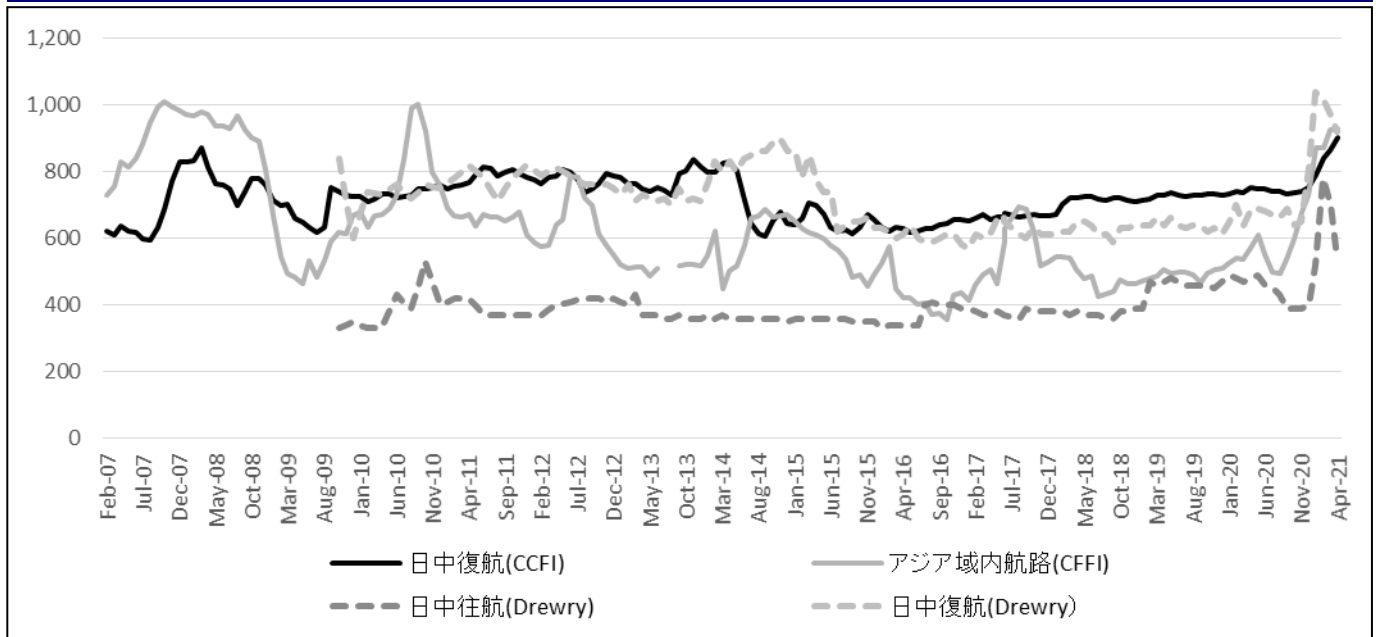


図-6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)



図－7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移（単位：指数（CCFI）、ドル/TEU（その他））



（参考） 輸送量・運賃データの出所

1.北米航路輸送量

- ・ PIERS（Port Import/Export Reporting Service）データ

2.欧州航路輸送量

- ・ Container Trade Statistics Ltd.

3.アジア域内航路輸送量

- ・ IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd.（CTS社）

4.日中航路輸送量（トンベース）

- ・（公財）日本海事センター企画研究部（注：財務省貿易統計に基づきトンベースで推計）

5.北米航路、欧州航路運賃指数（往航では（CI,Drewry）と示した列、復航）

- ・ Drewry “Container Freight Rate Insight”：南中国（塩田）と米国東岸（ニューヨーク）、英国（フェリックストウ）間の運賃

6.北米航路、欧州航路運賃指数（（CCFI）と示した列）

- ・ 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>

7.アジア域内航路運賃指数（毎月）

- ・ 中国国際海運網ウェブサイト（中国・東南アジア間航路の運賃指数）
- ・ Drewry “Container Freight Rate Insight”：Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)

8.日中航路運賃指数

- ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly”（上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数（（CCFI）と示した列））
- ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight”（中国（上海）と東京/横浜間の運賃）：2014年4月発表の資料より変更**

9.BDI（バルチック海運指数）

- ・ Clarkson Research “Shipping Intelligence Network”

10.円ドルレート

- ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>